

活動情報

取組項目

普及・啓発活動

組織名

三区町環境保全隊

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：

活動内容：

# 三区町環境保全隊広報

皆さんの投票で決まった**三区町スローガン**

好きです！ **那須疏水と緑豊かな郷・三区町**

守ります！ **那須の大地と清らかな疏水**

平成29年10月20日

発行NO. 29-12

発行者 佐々木 賢

## “那須疏水” 「世界かんがい施設遺産」として登録



下野新聞に掲載

当時の姿をとどめる第3次取水口。左は現在の取水施設=2004年、那須塩原市西岩崎

「世界に認められた」「先人たちが喜んでいてるはず」喜びの声を上げた。明治時代の国策としての工事着工から140年近く、かつて「不毛の地」といわれた那須野ヶ原を潤し続けるかんがい施設に光が当たった。国策で始まった那須疏水は、1885年に那須塩原市西岩崎から千本松を結ぶ本幹水路(16・3m)が完成。翌86年までに4本の分水路ができた。戦後、新たな用水確保のために国営事業を実施し、深山ダムなどの貯水池も築造された。総延長は約330mに及ぶ。申請した那須野ヶ原土地改良区連合の吉沢昭栄事務局長は「那須疏水は日本三大疎水の一つで、世界的にも価値が認められた」と喜んだ。「今後も命ある水を守っていきたい」とした上で、「水路の維持管理は大変。那須疏水を地域の財産として再認識してもらえる機会になればいい」と期待を寄せる。



西堀農業用水路



農業用水路の清掃活動

### 那須疏水 世界かんがい遺産に 先人喜んでいてるはず

那須塩原の者  
塩原関係  
塩原地

「世界に認められた」「先人たちが喜んでいてるはず」喜びの声を上げた。明治時代の国策としての工事着工から140年近く、かつて「不毛の地」といわれた那須野ヶ原を潤し続けるかんがい施設に光が当たった。国策で始まった那須疏水は、1885年に那須塩原市西岩崎から千本松を結ぶ本幹水路(16・3m)が完成。翌86年までに4本の分水路ができた。戦後、新たな用水確保のために国営事業を実施し、深山ダムなどの貯水池も築造された。総延長は約330mに及ぶ。申請した那須野ヶ原土地改良区連合の吉沢昭栄事務局長は「那須疏水は日本三大疎水の一つで、世界的にも価値が認められた」と喜んだ。「今後も命ある水を守っていきたい」とした上で、「水路の維持管理は大変。那須疏水を地域の財産として再認識してもらえる機会になればいい」と期待を寄せる。

だっただという、同博物館の松本裕之館長補佐は「この地域にとって非常に光栄なことだ。先人たちが喜んでいてるはず」と話す。

那須塩原市も明報を歓迎。君島寛市長は「本市が先人から受け継いできた那須疏水が世界に認められてうれしい。この遺産をしっかりと後世に引き継いでいきたい」とコメントした。(石田聡)

**三区町の歴史は…!!** 約133年前、遠く長野、富山から入植された人たちが、自然と闘いながら荒れた原野に鋤を入れ、食べるものもままならぬ状況の中で、養蚕によって苦しい生活をし、その後の那須疏水の開削によって現在の穀倉地帯に変身した地域です。

三区町環境保全隊とNPO法人三区町地域資源・環境保全会は、「命の水である那須疏水を守る」様々な活動に取り組んでいます。主に、**那須開墾社第二農場跡地(歴史公園)**を活動の拠点として、那須野ヶ原開拓と那須疏水開削を広く知ってもらうため、「夏休み子どもお楽しみ会 & 学習会」「60歳からのとちまちづくりの集い」「都市住民との交流としての那須疏水 & 田園ウォーク」「生きもの調査」「公園内の清掃」「西小学校での出前授業や野外学習」「農業用水路の草刈り・清掃」などに取り組んでいます。三年がかりで取り組んだ**「歴史公園内のホタルの復活作戦」**も成功し、今年の6月には**ゲンジボタルを確認**しました。「世界かんがい施設遺産」に選ばれたことは素晴らしいことです。これを機に、新たな気持ちで**「那須疏水を守る活動を推進」**していきますので、三区町に住む多くの皆様のご支援をお願い致します。